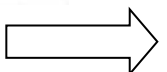


iichiko super 三和酒造株式会社 大分県宇佐市山本・虚空蔵寺丁 TEL0978-32-1431 <https://www.iichiko.co.jp>

飲酒は20歳を過ぎてから。お酒はおいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響するおそれがありますので、気をつけましょう。飲酒運転は、絶対にやめましょう。



Milano

# ラファエッロ最大の下絵、修復完了

「アンブロジーアーナのラファエッロ 最初のカルトン」展

3月27日 >> ミラノ、アンブロジーアーナ絵画館



© Venenstus Bibliotheca Ambrosiana, Mondadori Portfolio

●ラファエッロ《アテナイの学堂》 1509年 木炭・鉛白、紙 285×804cm

129  
ラファエッロ(1483-1520)は、教皇ユリウス2世よりの1508年に依頼を受け、ヴァチカン宮殿の1室を装飾する4点のフレスコ画を描いた。そのうちのひとつ「アテナイの学堂」のカルトン(下絵)だが、4年におよぶ修復を終え一般公開され

た。幅8メートルを超える、現在に伝わるルネサンス期最大のカルトンは、全体がラファエッロ自身の手になるもの。アンブロジーアーナ絵画館創設者のフェデリーコ・ポッロメオ枢機卿が購入し、そのコレクションに加わった。絵画館の第5室に入っ

く正面には、解説の大きなマルチメディアスクリーンが置かれている。作品の劣化を防ぐためガラスケースに入れられたカルトンは、奥の壁上に照明を最低限に抑えた新たな方法で展示されている。6段階を経た今回の修復は、保存を目的として、汚れを除去し、和紙やふりなど日本製品ももちいながら、欠けた部分や裏面の補強がなされた。

場面は古典的思想家たちを、上下段に分けて描いている。中心となるのは上段中央のふたり、プラトンとアリストテレスで、前者は右手人差し指を天に向けて超越的な理念の世界を示し、後者は右手のひらを下に向け現実を観察する。下の段には幾何学者や天文学者、音楽家が描かれている。壁面の枠組となる建築要素や、ラファエッロの自画像を含む数人の人物像が欠けているものの、このカルトンは均衡のとれた構図、人物の表情や動作など作品の決め手となるすべてを持ち合わせる。用紙は210枚の紙片を小麦粉の糊で貼り合わせたものだといすが、暗褐色の画面はともそうとは思えない、完結した作品の存在感を湛えている。

取材：高橋聖雄